みんなの消防ひがしくるめ

秋の火災予防運動

11.9(水)～15(火)

もう一度　確認 安心　火の用心

令和４年度 東京消防庁防火標語　作者 菅野 珠加さん（江戸川区在住）

火災から大切な命を守るために

昨年、東京消防庁管内では住宅火災による死者が６９名発生しています。住宅火災を未然に防ぐために次のことに注意しましょう。

ストーブの使用時

昨年の東京消防庁管内で、火災一件あたりの死者数が最も多いのは、ストーブが原因の火災です。

- **ストーブの近くで洗濯物の乾燥をしない**
- **周りに布団や衣類などを置かない**
- **ストーブをつけたまま寝ない**

たばこの不始末

昨年の東京消防庁管内で、死者が発生した住宅火災の原因で、最も多かったのが、たばこの不始末です。

- **寝たばこは絶対にしない**
- **灰皿に吸殻を溜めない**
- **吸殻は水で完全に消してから捨てる**

調理中のこんろ

昨年、東京消防庁管内で発生した住宅火災の原因で、最も多かったのが、こんろです。

- **調理中は離れない離れるときは必ず火を消す**
- **周りに燃えやすいものを置かない**
- **調理のときは防炎品のエプロンなどを使用する**

電気火災に注意

昨年、東久留米市内で発生した住宅火災の原因で、電気関係(配線や電化製品など)が多発しています。

- **コンセントや電化製品に異常がないか確認する**
- **差し込みプラグを定期的に清掃する**
- **コードの折れ曲がり家具の下敷きに注意する**
- **テーブルタップは許容量内で使用する**

住宅用火災警報器の点検・交換を忘れずに！

●点検は定期的に！（年２回点検しましょう）

感知器にホコリや汚れなどが付着することで、いざというときに作動しない可能性があります。

➡ 作動しない場合はすぐに交換してください

●交換の目安は１０年！

住宅用火災警報器の製品寿命は約１０年です。

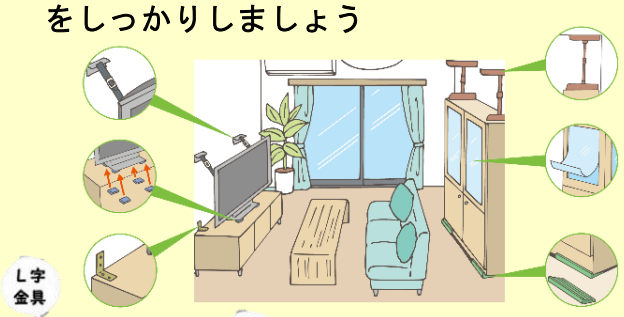
➡ 設置から１０年を目安に交換してください

地震だ！まず身の安全 してますか？

家具類の転倒・落下・移動防止対策

「命を守るための備え」

家具の転倒・落下・移動防止対策をしっかりしましょう



窓ガラスやガラス扉の飛散防止フィルムを貼りましょう

「地震が起こった時は」

まず身の安全！

- なるべく物がない場所で
- カメのように丸まって
- 頭を守って
- 揺れが収まるまで我慢

「揺れが収まったら火の始末」

消火器を用いた初期消火

- 火災を発見したら
- 落ち着いて退路を確認
- 姿勢は低くして
- 燃えているものを狙う

緊急時にも役に立つ
東京消防庁公式 アプリ

ダウンロードはこちら！

iOS版 App Store からダウンロード

アンドロイド版 Google Play で手に入れよう

東京消防庁
家具転対策
ホームページ

東久留米消防署・東久留米災害防止協会